

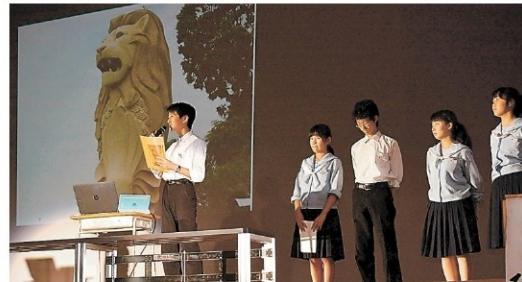
英語力、積極性大切さ実感

今夏、シンガポール研修に参加した福井大附属義務教育学校(後期課程)の生徒による報告会が同校で行われた。現地での学校生活や交流の様子を紹介し、英語力や積極的な姿勢の大切さを強調した。

研修はグローバル人材育成を目的に今年初めて行われ、8、9年生の9人が7月26～30日に訪問。昨年度からテレビ電話で交流しているシンガポール国立大附属学校やジュロンビル中等学校で授業を受けたり、南部のリゾート地セントーサ島で同国の歴史を学んだりした。

シンガポール研修の 福井大附属校生報告

報告会は文化祭の中で行われ、北川陽菜乃さん(9年)は、シンガポールの生徒たちが廊下でフレンドリーに手を振っ



文化祭でシンガポール研修の成果を報告する生徒たち＝福井市の福井大附属義務教育学校

てくれたり、バスケットの授業でボールを回してくれたりしたことを紹介し、積極的にコミュニケーションを取る姿勢を見習いたいと話した。授業で意見を求められた時、自分の考えを伝えられず歯がゆい思いをしたことにも触れ「英語力を伸ばしていきたい」と力を込めた。

同校は普段から教育視察として海外から教員や留学生が訪れる機会が多い。鈴木開さん(9年)は「僕たちがリラックスして活動できたのはシンガポールの皆さんが温かく迎えてくれたから。僕たちも英語の勉強を頑張り、海外のお客さんをしっかりもてなしましょう」と呼び掛けた。

(宇野和宏)